

事務事業名 少年期人権啓発事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：709

施 策：	13	人権尊重のまちづくり	財務コード	01090611-02-596
基本事業：	02	同和問題の解決	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	同和地区住民の失業率		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成21年度 ～			新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内在住の児童・生徒				子ども会において、教職員を講師として人権学習活動・体験学習活動等を実施する。 【活動の詳細】 ・人種差別、障がい者差別、男女差別、部落差別等の学習（社会情勢やニュース等で取り上げられているものを題材とした学習） ・平和学習 （戦争や原爆体験等を題材とした平和学習） ・高齢者との交流、介護体験 （地域で引き継がれている技能・技術の体験） ・人権啓発の交流集会 （地域住民や保護者等との人権に係る交流会）						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
小中学生を対象とする人権啓発の推進										
4．成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称			単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
学習活動等に参加した子ども・教職員の人数			人	3,082	2,474	5,000	5,000			5,000
5．コスト										
事業費			計	千円	2,036	2,036	2,037	2,037		
			国	千円		0	0	0		
			県	千円	700	703	703	703		
			地方債	千円		0	0	0		
			その他	千円		0	0	0		
一般			千円	1,336	1,333	1,334	1,334			
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費			千円	773	782	802				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)			千円	2,809	2,818	2,839	2,037			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
○あがっている ○どちらかといえばあがっている ●あがっていない（停滞・低下）			少年期の人権啓発を継続して行い、差別を見抜き、許さない意志と実践力を持った子どもたちを育成できるよう推進していく。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	当該事業について、市内各子ども会に対し、積極的に周知し事業内容への理解を図り、推進する必要がある。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了				
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
人権感覚を養い、差別を見抜き、許さない強い意志と実践力をもった子どもたちを育成することで、人権啓発の推進につながる事業であり、継続していく。										
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄						
福岡県人権・同和問題啓発事業費補助金交付要綱の規定に基づき実施するもの。平成21年度から一般対策事業として、市内在住の児童・生徒に対して、少年期の人権啓発の推進を目的に実施している。										